

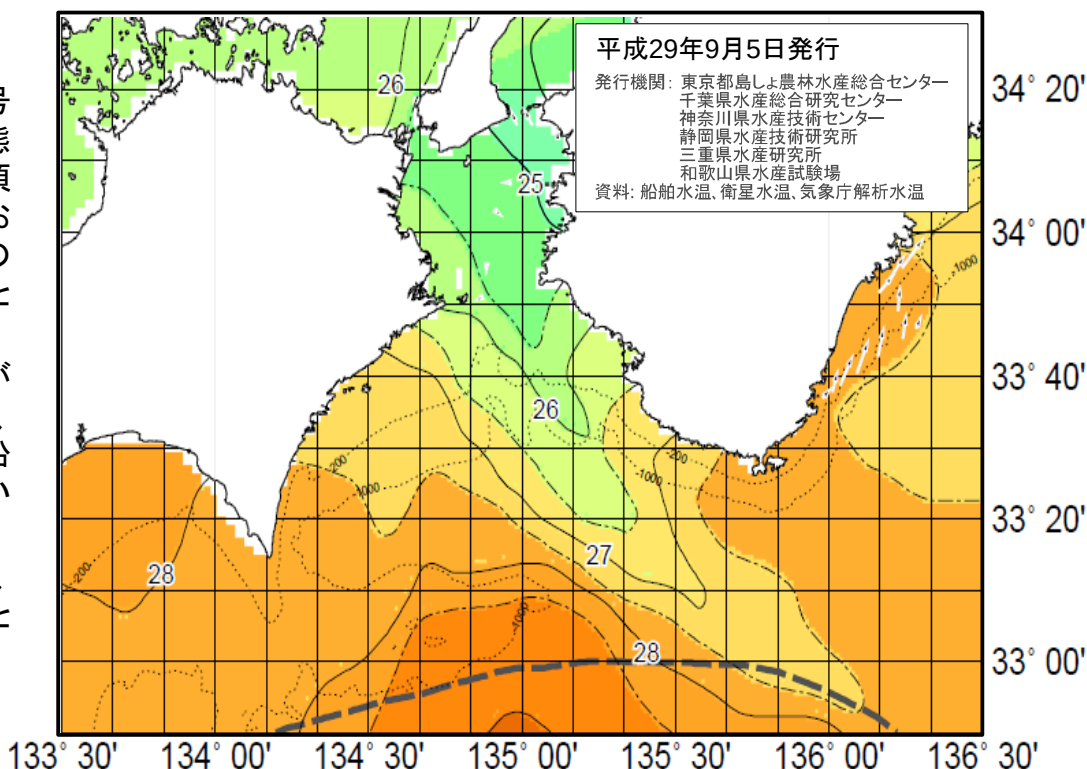
海況

1. 周辺海域の水温

黒潮は、室戸岬沖では前号時点の「著しく離岸」の状態から徐々に北上し8月31日頃から「やや離岸」となっており、潮岬沖でも前号時点の「離岸」から「やや離岸」へと接岸傾向で推移した。

徳島県沿岸の水温は下がり、播磨灘で25℃～26℃台、紀伊水道で25℃台、海部沿岸で26℃～27℃台となっている。

黒潮本流の表面水温は、平年並みの28℃～29℃台となっている。

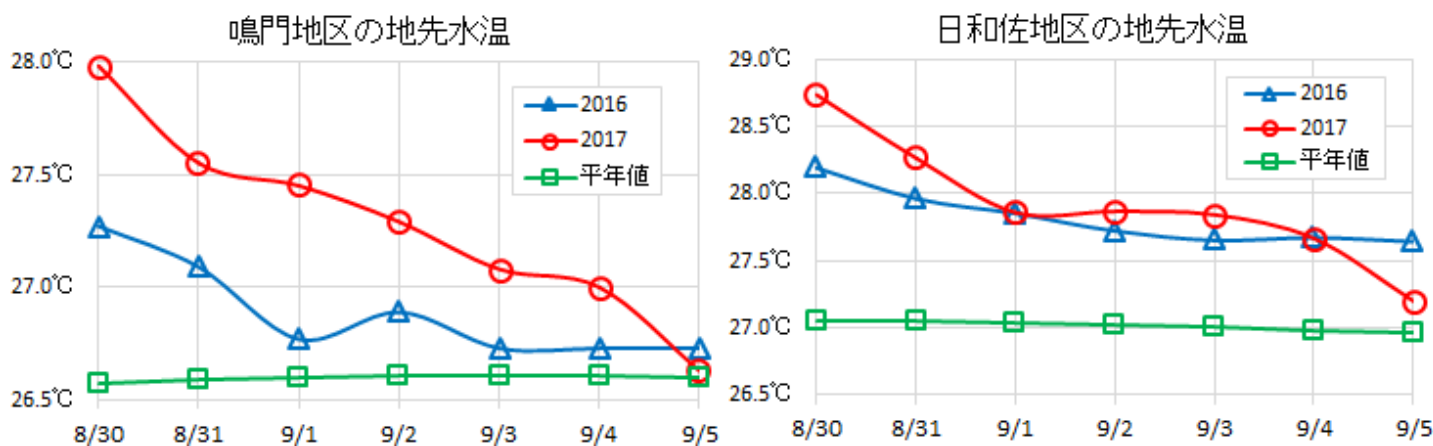


海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

2. 地先水温(8月30日～9月5日)

鳴門地区の地先水温は期間通じて右肩下がり、「やや高め」28.0℃から「平年並み」の26.6℃まで低下した。

日和佐地区の地先水温は、期間始め28.7℃と「高め」であったが、その後下がって「やや高め」となり、横ばいで推移したのち5日また下がって「平年並み」の27.2℃となっている。



※水温の高低 平年並：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 鳴門地区：1981年～2015年の平滑平均値、日和佐地区：1982年～2015年の平滑平均値

3. 週間予報(9月6日～9月12日)

黒潮は、室戸岬沖、潮岬沖とも「やや離岸」～「離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区、日和佐地区とも「平年並み」で、鳴門地区では26℃台、日和佐地区では27℃台で推移する見込み。

漁況 2017年8月28日～9月3日（旧暦7月7日～7月13日）

端境期で全体的に漁獲が少ない。

1. 紀伊水道(標本漁協数:3)

船びき網では、シラスが前週並みの12.2ト水揚げされた。

延縄では、タチウオが減って1.5ト、ハモが大きく減って1.3ト水揚げされた。

小型定置網は、カンパチが大きく増えて大主体に2.0ト、マアジが小小主体に前週並みの0.7ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが大きく減って4.2ト水揚げされた。

2. 海部沿岸(標本漁協数:4)

延縄では、カサゴが減って特大主体に0.3ト、アカムツも減って0.3ト水揚げされた。

小型定置網では、かます類が減って0.6ト水揚げされた。

漁獲量集計表(漁獲が0.1ト以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	54	シラス	12,150	225		→
	釣り	13	イサキ	238	18	大主体	↘
	延縄	33	タチウオ	1,522	46		↘
			ハモ	1,342	112		↘↘
			サワラ	418	46		↗↗
	小型定置網	21	カンパチ	2,012	96	大主体	↗↗
			マアジ	694	35	小小主体	→
			ブリ	225	19	つばす主体	↗↗
			イサキ	156	14	大主体	↗↗
			マダイ	142	8		↗
			ヘダイ	118	6		↗↗
底びき網	24	ハモ	4,203	175		↘↘	
海部沿岸	延縄	12	カサゴ	348	29	特大主体	↘
			アカムツ	282	12		↘
			キダイ	227	15	大主体	↗
			いとより類	106	9	大主体	→
	小型定置網	13	かます類	619	48		↘
			マアジ	118	7	小小主体	↘

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘